

大会宣言

全国連合小学校校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

本大会では、第六十五回三重大会から五年目となる大会主題「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実現を目指し、これまでの四大会の研究結果と課題を引き継ぎ、組織をあげて鋭意努力して取り組んできた。

現在、あらゆる分野でグローバル化や技術革新、とりわけ人工知能の利用が進み、知識基盤社会へ加速度的に移行している。また、少子高齢化、人間関係の希薄化等の社会の変化により、先を見通すことが困難な時代を迎えている。このような中、我が国は、今後の社会の方向性として「自立」「協働」「創造」の三つの理念の実現に向けた生涯学習社会を構築することが求められている。平成三十二年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けても、これらの理念に基づいて各分野で様々な取組が行われている。教育においては、今年三月に新学習指導要領が告示され、新しい時代に必要となる資質・能力の育成や各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立等についての方針が示された。

こうした国の動向を注視しつつ、東日本大震災や熊本地震等の教訓を生かし、社会において自立的・協働的に生き抜くために必要な「生きる力」をバランスよく身に付けた子どもを育成することが学校教育の責務である。また、未来社会を創り上げていこうとする高い志を抱き、社会の変化に主体的に関わり、課題解決を図る創造的な思考力やしなやかな知性といった、新たな知を生み出す力を身に付けることが求められている。そのため、小学校教育においては、自ら生み出した知を、多様な価値観や個性を尊重した他者との質の高い関わりの中で磨き、よりよく生きるための知へと高め合うことが重要である。

私たち校長は、佐賀大会における副主題「志を胸に 高きに和して 未来を創る子どもを育てる学校経営の推進」を基盤に据え、創意ある展望と計画のもと小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第六十九回全国連合小学校校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一、新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く 日本人の育成を目指す 小学校教育の推進
- 一、志を胸に 高きに和して 未来を創る子どもを育てる 学校経営の推進
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、道徳教育を中核とし命の尊厳を重視した心の教育の一層の充実
- 一、主体的に判断・行動し命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域社会との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実

右、宣言する。

平成二十九年十月十三日

第六十九回全国連合小学校校長会研究協議会佐賀大会